

事前協議計画の概要書

- 1 病院・診療所の名称：県西在宅クリニック熊谷（仮称）

所在地：熊谷市村岡307-1

所在二次保健医療圏：北部医療圏

- 2 開設者の名称：木ノ内 勝士

所在地：[REDACTED]

- 3 病院・診療所の現状：新規開業につき既存の病床はありません

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
計	—	—	—	—

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア 病床	回復期リハビリ テーション病床
—	—	—	—

- 4 開設等の目的、必要性

1.在宅医療の現状

埼玉県北部区域における在宅医療の現状は、需要が多いにも関わらず、供給が少ない状態です。人口 10 万人当たりの在宅療養支援医療機関は 12.59 であり、さいたまの 15.43 などと比較しても少ないことがわかります。（埼玉県地域構想 P 89 参照）

訪問診療を行う医療機関である在宅療養支援診療所の絶対数が少なく、熊谷市医師会並びに地域住民の方々からも在宅療養支援診療所の開設が望まれております。

現在、私が勤務します（医）尽徳会 県西在宅クリニック診療所は、埼玉県久喜市、茨城県古河市、群馬県館林市に診療所がございますが、地域を越えて埼玉県北部医療圏、熊谷市近辺の患者様からも訪問診療の依頼があるにもかかわらず、熊谷市周辺は保険診療上定められた 16km 圏内からは外れており、訪問することが出来ません。

また、同じく末期がん患者様の診療についても、埼玉県北部医療圏内にはその受け皿となる緩和ケアの病床数が少ないうえ、機能強化型在宅療養支援診療所が少ないため、積極的な治療を選択せず自宅で穏やかな最期を迎えたいと願う終末期の患者様の要望を叶えることも出来ません。

さらに末期がんの患者様のみならず、老衰、加齢に伴う廃用症候群の進行により通院困難となった患者様、施設入所中で受けられる医療サービスが限られた患者様、各種慢性疾患で自宅療養中の患者様についても、急変、夜間の急な体調悪化などの際は、通常の外来診療所や病院では受診が難しいために急性期病院に救急搬送され、本人の望みとは違った形の医療を受けることになるケースが多いというのが実情です。

2.開設の目的・必要性

私どもは 24 時間 365 日の診療体制を置くことで、こうした患者様に対応し、不要な救急搬送・望まない延命治療を少しでも減らし、幾ばくかでも熊谷近辺の患者様のお役に立てれば、地域医療に貢献できるのではないかと考えております。

診療所の特色としましては、一般に在宅では難しいとされている比較的高度な医療行為（貧血患者に対しての輸血療法、腹水貯留患者に対してのCART療法、がん患者のPCAポンプを用いたオピオイドによる疼痛緩和療法、各種疾患に伴う胸水・腹水穿刺排液など）にも対応しており、今まで病院に通わざるを得なかった患者様が自宅にいながらにしてこれらの医療を受けるお手伝いをすることが出来るということです。

私どもが専門とする在宅医療という領域は通常の外来診療とは明確な棲み分けがなされており、その意味ではこの地の医療を担う他の先生方に対しての補完という立場で、熊谷市の地域医療に貢献できるものと考えております。

埼玉県地域医療構想によれば、今後、埼玉県北部地域では、1日当たりの在宅医療の必要量が平成25年の3,771人から令和7年の5,541人へと1.5倍になることが見込まれております（P91）。同構想94ページでは「現在訪問診療を行っている医師が今後高齢化する一方、新規参入する医師が非常に少ない。開業医の中から、在宅医療を担う医師をどう増やしていくかが今後の課題」とされています。

病床を設置して地域に根差した在宅医療に取り組むことは、そのような課題の解決にも有効と考えております。

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 2 床

医療機能*	病床機能区分	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
地域包括ケアシステムの構築	回復期機能	病床	有床診療所入院基本料1	2床
計	—	—	—	2床

* 回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

病床数の根拠

<熊谷市に病床を設置する理由>

病床機能があることで、終末期における介護負担の軽減、看取り段階における不要な救急搬送を減らし介護認定では無いご家族様や介護者の肉体的、精神的負担による介護軽減等など在宅療養困難時に一時的に入院という形でバックアップすることを目的としています。

年間実入院患者数75名、平均在院日数10日を見込んでおり、
 $75人 \times 10日 / 365 = 2$ となることから2床が必要となります。

(2) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況
取得済	4654.00㎡		所有・借地
取得予定	㎡		所有・借地
計	4654.00㎡		

(3) 計画建物

工事種別	新築・増築・改修・その他() 既存物件()
概要	平成3年3月に建築済み物件。 そのうちの1階部分を賃貸し在宅療養支援診療所開設予定。

(4) 医療従事者

職種	現在の人員(人)		確保予定の人員(人)		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
		実人数		常勤換算	実人数
医師			2		
看護師			5		
その他			6		
計			13		

確保状況・確保策、確保スケジュール

1. 医師の配置について

現在、私は(医)尽徳会にて診療を行っておりますが、熊谷市にて診療所を開設時には管理者として着任いたします。その他に1名常勤医師を配置する予定で24時間の診療にあたります。その他非常勤医師に関しては確保できしだい配置致します。

2. 看護師及び事務員の配置について

私の現在の勤務先である(医)尽徳会に勤務する看護師のうち熊谷市近郊に居住する者が3名、その他、現地採用が2名となっております。
事務員に関しましても6名の採用が決まっております。患者様の状況に応じ適宜採用を進めていきます。

(5) スケジュール

No.	項目	計画年月	備考
1	建築(着工～竣工)	令和 2年 7月～(10日間程度)	改修工事済
2	開設(変更)許可(医療法)	医療審議会終了後	令和2年9月を想定
3	使用許可(医療法)	令和 2年 10月	
4	開設(増床)	令和 2年 10月	